

全国中心市街地活性化 まちづくり連絡会議

第8回 勉強会 in 宮崎市

平成23年2月17~18日、「全国中心市街地活性化まちづくり連絡会議第8回勉強会」が宮崎県宮崎市で開催されました。今回の勉強会には、23社58名（賛助会員等を含む）と多数の皆様にご参加頂きました。

《第1日目》

第1日目は、13時30分から宮崎観光ホテル東館2階「日向の間」にて勉強会が開催されました。

はじめに、鈴木会長（豊田まちづくり㈱）から、「新燃岳の噴火等の心労が重なる中で諸準備をして頂いた(財)宮崎市花のまちづくり公社・宮崎商工会議所・商店街・関係者の方々、また、当初から指導を頂くとともに会議の後援を頂いている国交省、さらに事務局の支援を頂いている参与会員4団体に対して御礼を申し上げます。九州初の勉強会が公園のような街をテーマとして中心市街地活性化に取り組む宮崎で開催できることを嬉しく思うとともに、新燃岳による御心労がはやくおさまることをお祈りします。」との御挨拶を頂きました。



はじめに、鈴木会長（豊田まちづくり㈱）から、「新燃岳の噴火等の心労が重なる中で諸準備をして頂いた(財)宮崎市花のまちづくり公社・宮崎商工会議所・商店街・関係者の方々、また、当初から指導を頂くとともに会議の後援を頂いている国交省、さらに事務局の支援を頂いている参与会員4団体に対して御礼を申し上げます。九州初の勉強会が公園のような街をテーマとして中心市街地活性化に取り組む宮崎で開催できることを嬉しく思うとともに、新燃岳による御心労がはやくおさまることをお祈りします。」との御挨拶を頂きました。



続いて、開催地を代表して宮崎市戸敷市長より、「宮崎市は口蹄疫、鳥インフルエンザ、更には新燃岳噴火の影響で疲弊している。そういう中で、街を発展させるには拠り所となる中心市街地の活性化が肝要である。この全国のまちづくりに取り組む方達との勉強会を通して新しいまちづくりの方策を研究できる有意義な会議となることを期待したい。」とのご挨拶を頂きました。



続いて、来賓として国土交通省都市・地域整備局まちづくり推進課鹿子木企画専門官より、「御準備頂いた地元宮崎の事務局の皆様に対して敬意を表します。噴火の影響が心配されたものの無事集まることが出来た参加者の皆さんにより、この勉強会が情報交換と切磋琢磨の場になることを期待しています。また、国交省としてもまちづくりに関する“新たな担い手”の主役である皆さんとの情報交換を通じて、今後の皆様の活動環境を整えるための施策に生かして行きたいと考えています。」との御挨拶を頂きました。



現況発表

『宮崎市からの取組紹介』と題し、宮崎市の2つのセクションより、それぞれの取組内容について発表を頂きました。主な内容は以下の通りです。

宮崎市中心市街地活性化の取組み

- 宮崎市中心市街地活性化推進室 竹迫室長
- 宮崎市中心市街地活性化基本計画

(平成19年5月認定)の概要説明

公園に例えた中心市街地全体の向上

-4つの柱-

交通環境の公園化

居住環境の公園化

にぎわいづくりの公園化

就業・商業環境の公園化

景観まちづくりの取組み

- 宮崎市景観課 蔵田課長

・宮崎の景観づくりのあゆみ

・宮崎市の景観特性

花と緑を核としたまちづくりで中心市街地の魅力を高める。



主な事業の取組み

続いて、休憩をはさみ「主な事業の紹介」と題して4つの事業について以下のとおり発表を頂きました。

中心市街地活性化対策の経緯

- 宮崎商工会議所 松山副所長

- ・ 宮崎市の現状について
- ・ これまでの取り組み
- ・ 宮崎市中心市街地活性化基本計画の実施
(宮崎駅西口拠点施設整備ほか)

Do まんなかモール委員会の取り組みについて

- Do まんなかモール委員会 富山委員長

- ・ Do まんなかモール委員会の活動状況
- ・ 中心市街地活性化を目的に「7商店街と5大型店が一つのショッピングモールのように」をコンセプトとして設立。

みやざきアートセンターについて

- みやざき文化村 石田代表

- ・ みやざきアートセンター設置(市街地再開発事業)の経緯
- ・ 運営体制・主な自主企画事業
- ・ 今後の展望と課題

宮崎駅西口拠点施設整備事業について

- 宮崎商工会議所 岡部課長

- ・ 宮崎駅西口拠点施設整備事業の概要説明
- ・ 公募型プロポーザルによる官民連携事業
- ・ 事業実施スキーム 準備段階 実施段階

国からの情報提供

国からの情報提供として、最新の情報により「国土交通省における中心市街地活性化支援策等」について、主に以下の通り説明を頂きました。

平成23年度中心市街地活性化等に関する

国土交通省の支援施策について

- 国土交通省 都市・地域整備局 まちづくり推進課
鹿子木企画専門官

暮らし・にぎわい再生事業(社会資本整備総合交付金基幹事業)をはじめとする平成23年度の国土交通省による中心市街地活性化のための各種支援策や事例について

新たな担い手によるまちづくりの推進

- 国土交通省 都市地域整備局 まちづくり推進課
都市総合事業推進室 角田課長補佐

- ・ 新たな担い手によるまちづくりの背景
- ・ 都市再生特別措置法の見直し
- ・ まちづくりの民間主体の参画
- ・ 都市の国際競争力の強化



官民連携による持続的なまちづくりに向けて

- 国土交通省 九州地方整備局 建政部
都市住宅整備課 平塚課長

持続的なまちづくりに必要な3つの主体(民間地域住民・アドバイザー・行政)に対して行った街づくりに関するヒアリング結果と、そこから導き出される街づくりのポイントについて

交流会

宮崎観光ホテル東館2階「紅の間」において、開催地宮崎市金丸副市長の御挨拶及び国交省鹿子木専門官による乾杯から交流会は始まりました。(財)宮崎市花のまちづくり公社の御配慮により、様々な食事と飲み物を楽しむことが出来る盛大な交流会となりました。



最後は、(株)まちづくり松山日野社長の締めで閉会となりました。



《第2日目》

現地視察

第2日目は、総勢約40名で宮崎市の中心市街地の現地視察を実施しました。朝、会場ホテルにて15分ほどの概要説明の後、宮崎市、宮崎商工会議所、及び(財)宮崎市花のまちづくり公社の職員の皆様により、会場ホテル 大淀川河畔 宮崎県庁・楠並木通り 橋通り・みやざきアートセンター 若草通り商店街 山形屋・Y・Y PARK 高千穂通り あみーろーど 宮崎駅西口といった約2km弱の行程を約1時間半程かけて御案内頂きました。

みやざきアートセンター



前知事により一躍有名になった宮崎県庁本館(現役県庁舎としては日本で4番目に古いこと)を横目に楠の大木茂る並木通りを抜けると南国ムード漂うパームツリーの街路樹が印象的な橋通りに出ました。この橋通りをしばらく進むとシンボリックな外観のみやざきアートセンターがあります。市民の皆様が日常的に文化・芸術に親しめるよう様々なジャンル



前知事により一躍有名になった宮崎県庁本館(現役県庁舎としては日本で4番目に古いこと)を横目に楠の大木茂る並木通りを抜け



の展示やイベントが開催されているとのことであり、既に目標を超える16万人の方々が利用されているとのことでした。

Y・Y PARK



橋通りから逸れてアーケードのある若草通り商店街を進み、左手にある洒落た四季通りを抜けると老舗百貨店の山形屋さんがあります。

その新館増床と合わせて整備された立体駐車場(再開発ビル『Y・Y PARK』)により市内中心部の利便性が向上され、また、休日などには、周辺の商店街(DOまんなかモール)等で開催されるイベントにより、この一帯はとても賑わいを見せるそうです。

あみーろーど

Y・Y PARKから高千穂通りを通り、しばらくして右手に折れると、あみーろーどがあります。地元関係者の方々のご尽力により、アーケードが撤去され、電線類の地中化やカラー舗装が施され、デザイン性の高い街路灯が印象的な通りです。あみーろーどの語源は、この地区にあった県指定有形文化財の木造阿彌陀如来坐像と「友達」を意味するフランス語「ami」とのことでした。



宮崎駅西口

あみーろーどを抜けると、目の前が宮崎駅西口です。この西口では、店舗、オフィス、ホテル等からなる複合施設が建設中でした。中心市街地の賑わいにつながる駅前の新しい顔として期待されます。



プロ野球やJリーグ

の各チームがキャンプを行う宮崎市だけあって、2月にもかわらず、徒歩での現地視察は、コート要らずで、むしろ汗ばむほどでした。

口蹄疫や鳥インフルエンザの流行、新燃岳の噴火被害と地元の皆様は心労が絶えない日々を過ごされていると推察いたします。一日も早く地元の皆様の心労が晴れますよう祈念いたします。



最後に

今回の勉強会の開催地として事前準備含めいろいろな取り組みを実施頂きました方々、特に(財)宮崎市花のまちづくり公社、宮崎市及び宮崎商工会議所の職員の皆様に御礼を申し上げますとともに、平成23年5月18日には、東京・新宿において第5回総会を開催する予定です。多くの会員の皆様方の御参加をお待ちしております。